

第33回串間市青少年の声を聞く会

■市内の各学校から19名が思いを述べました。今回は各小学校の発表を要約してご紹介します。

あこがれの薬剤師に！

金谷小6年 轟 七夏さん

私があこがれている仕事は薬剤師です。薬のことに詳しく、薬局へ行くと説明をしながら、適切な指示をしてくださいます。父が鼻の手術をして5年が経ちますが、病気はまだ治っていません。将来、薬剤師になり、父を少しでも楽にしたいです。そして、たくさんの方の役に立ちたいです。

平和について考えたこと

有明小6年 川崎 琳加さん

歴史や修学旅行で行った知覧特攻平和記念館での学習を通し、平和な世の中にならなければならぬと強く思うようになりました。そのために、まずは、友だちや家族など身近な人と仲良くし、思いやりの心をもって接していきたいです。全ての人が自分を好きになり、夢や希望に向かって頑張れば、きっと平和が続くと思います。

将来の夢

秋山小6年 山下 隼佑さん

僕には全日本のバレーボール選手になるという大きな夢があります。その夢に向かって毎日練習に励んでいます。もちろん勉強も頑張らなくてはいけないと思っています。粘り強さを身に付け、どん

な時にもあきらめない心を持ち、いつかは全日本のバレーボール選手になりたいです。

中学校が統合されることについて

大東小6年 林 菜月さん

私は中学校2年生まで、大東中学校に通います。大東中でしか作れないような思い出をたくさん作りたいです。また、大東中学校の最後の生徒として、立派な態度で学校生活を送りたいと思います。3年生から通う新しい中学校でも早く環境に慣れ、楽しい一年間にしたいと思っています。

最上級生としての責任

都井小5年 村中 なつみさん

都井小は、今年度5年生5人が最上級生となりました。他の学校では5年生が経験しないようなこともこの10カ月でたくさん経験することができ、成長できたと思います。来年度は本当の最上級生として、今年経験したことを生かし、仲間と協力して都井小をまとめていきたいと思っています。

日本の伝統文化を通して

本城小6年 渡会 光岳さん

これから外国からたくさんの方や文化が入ってくるでしょう。だからこそ僕たちの世代が受け継が

れてきた大切な文化を忘れずに、守っていかなければなりません。そのために、日本文化を見たり体験し、触れ合って日本文化に対する思いを深めていきたいです。

石波の自然と共に生きていくには

市木小6年 谷端 天然さん

石波海岸には多くのゴミが漂着しています。清掃活動を行っていますが、清掃が追いつかず、石波の自然は危険にさらされていると感じます。自然を危険にさらしているのは人間です。一方で、人間は自然の中で生活していかなければならないのも事実。だから、これから自然を守っていくためにできることを考えていきたいです。

串間に愛情をもって

福島小6年 黒木 愛華さん

自然の美しさ、人とのつながりの深さ、特産物の豊富さが串間の大きな魅力だと思います。その魅力をもっとアピールすることで人が集まり、串間が栄えていけるのではないかと思います。私はこの故郷を誇りに思います。これから大好きな串間を守ってきたいと思います。

野球から学んだこと

笠祇小6年 鈴木 樹牙さん

野球は心が大切です。心を成

長させる数々のことが、野球の練習や試合にはあります。だからこそ、多くの人々が野球を続けているのではないのでしょうか。これからも野球を続け、体と技、そして心をもっと鍛えながら、家族や周りの人に感謝し、いつかは甲子園という大きな舞台に立ちたいです。

私の将来の夢

北方小6年 相澤 莉菜さん

私には将来の夢があります。それは「獣医師」になることです。家の牛舎を手伝う中で、牛が病気で死ぬのを目の当たりにすることもありました。これまでに見てきた牛の病気を全て治せるよう獣医師になりたいと思います。向上心を持ち、さまざまなことを一生懸命学び、たくさんの方を元気にできる獣医師になりたいです。

かなえない わたしの夢

大平小6年 松山 千笑さん

私は小さい頃から同じ夢を持ち続けています。それはシエフになることです。夢をかなえることはとても難しいことです。しかし、わたしは最後まであきらめず、努力をしています。そして、父のかなえられなかった夢、シエフを目指します。

本当に役立つ超音波検査とは？

超音波検査（以下、エコー）は、超音波を使つて体の中の構造や病変を調べる検査で安全性の高い検査です。内科、外科、泌尿器科、循環器科、産婦人科、さらには整形外科など、臨床の現場では幅広く、利用されています。皆さんも、一度は聞いたことがある、もしくは、実際に検査を受けた経験があるかもしれません。今回は、当院におけるエコーの現状をお伝えします。

エコーは、患者さんの病歴、身体所見、他の検査所見などから依頼され、検査前から想定された病気を確認します。血液生化学検査や画像検査、紹介状などがあれば参考にします。しかし、エコーはあくまで独立した検査であり、現時点で得られたエコー画像から疾患は何か、症状の原因は何かを考えていきます。腹部エコーは、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓、脾臓、さらには胃、小腸、大腸などの消化管やリンパ節、腹水や胸水を、心臓エコーは、心臓の大きさや心筋の動き、弁膜症を、頸部エコーは、血管の厚みや狭窄、甲状腺やリンパ節を観察します。異常所見を認める場合は、他の領域を追加する、あるいは画像処理をするなど、より詳細な評価を行います。急性腹症におけるエコー診断では、約4割が消化管疾患に起因しており、消化管を見ていない場合は、病変を見落とす、あるいは診断

の遅延や誤診の原因となります。例えば、心窩部痛や嘔吐、右下腹部痛は、急性虫垂炎いわゆる「盲腸」を、腹満感や便秘は、腸閉塞の有無を確認します。エコーでは、腸管拡張の程度や範囲、蠕動、内容物の状態、腹水の量や性状を丁寧に評価します。特にエコーは動きをリアルタイムに評価できることが、他の検査では得られない情報です。蠕動が良好な腸管が、経過観察中に低下もしくは停止、さらには腹水の増加や混濁が出現した場合は、悪化している可能性があり、迅速な治療が必要となります。

当院の急性腹症の検討では、肝胆脾疾患や消化管疾患、泌尿器や婦人科疾患など多岐にわたり、幅広い知識と鑑別診断が必要となります。一度に多数の臓器が対象となるつえ、得られた画像により次の観察部位や検査は異なります。検査者や施設によつては、肝臓や胆嚢など一部の臓器しか観察していないこともあるため、異常なしと診断されても、症状が持続する場合は注意が必要です。

また、当院は、日本肝臓学会専門医制度認定施設で、多数の紹介があります。肝臓の腫瘍に対しては、造影エコー検査を導入して診断精度の向上に努めています。エコー用の造影剤を静脈に注射することで、肝臓内の病変が明瞭となり多くの情報を得ることができます。CT検査やMRI検査の造影剤は腎臓に排泄されますが、エコー用の造影剤は呼吸から排

泄されるため、腎機能不全や喘息などの症例にも使用できます。ただし、重篤な心疾患や肺疾患、卵もしくは卵製品アレルギーの方は、副作用が生じる危険があるため、問診にて確認します。肝臓の腫瘍を宮崎大学医学部付属病院など高次医療機関で治療する場合は、当院にて治療前の適応や質的診断、治療後の効果判定が可能となります。串間市民病院で造影エコー検査を施行することで、身体的、精神的、経済的負担を軽減するメリットがあります。一口にエコー検査といっても施設によつて、有用性は異なるのが現状です。

さて、2010年から開始した研修医を対象としたエコー研修は、今年で5年目を迎えます。毎年、口コミによる希望者は増加し、延べ50名に到達します。エコー研修を契機として串間市民病院を知り、勤務される医師や、仲間を含む南那珂の地域医療に貢献すべく奮闘する医師もいます。「あの時、あの場所で、教わったエコーが役立っています。今では、私の医師人生において、大きな武器となりました。」と感謝され、感慨深いものがあります。串間市民病院には、本当に臨床に役立つエコーがあります。

最後に、地域医療こそ、最新最良の医療水準および医療システムが提供されるべきです。エコーを通じて地域医療に貢献できるよつに、日々真剣に、そして、一生懸命に取り組みたいと思っています。